



那覇市立教育研究所

所報第1号

平成21年4月16日
那覇市金城3-5-3
所長 池間 生子

学校・教職員のニーズに応えられる研究所でありたい

所長あいさつ

那覇市立教育研究所
所長 池間 生子

新しい年度がスタートしました。四月三日には第九十二期研究員の入所式も終了し、テーマ検討会に向けて、早くも熱を帯びだしたところです。

日々、新しいキーワードが飛び交う激動の教育界の中で、教材研究や指導法の工夫を始め、教師の資質や専門性を向上させることが必要不可欠になってきました。また、各学校が抱える課題も、多様化してきています。

このような状況に対して、学校や職員のニーズに応えられる研究所であるために、各学校・関係機関との連携を深め、課題の把握を的確に行い、研修事業の充実に努めていきたいと思っています。

前年度は、NARAEネット（琉球大学教授との連携）の活用を始め、ITに関する研修会等、教職員の皆さんが、自主的にそして充実感がもてるようにと、研修内容の充実を図ることを優先に取り組んできました。今年度はそれに加えて、学校へ出向き、研究所の財産を直接お届けする事ができればと考えております。先生方一人一人の授業力の向上に寄与できるように、全所員一丸となって取り組んでいきますので、教育研究所をぜひご活用ください。



人事異動に伴う 新任職員の紹介

平成21年度の人事異動に伴い、教育研究所に新しいメンバーが着任しましたのでご紹介します。

新任その1 みやさとしん 宮里 晋（指導主事）
算数の授業に対する思いは半端ではありません。寝ても覚めても算数のことばかり…。授業に行き詰まっている先生方は、お気軽にご相談ください。

新任その2 たいらこうじ 平良 恒次（主査）
久茂地公民館から転勤して来ました。ホームページや公民館報を担当していましたので、その分野は得意です。久茂地公民館のホームページに館報が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

新任その3 たじまさなえ 田島 早苗（P.C保守非常勤）
学校からの「困った！」に迅速に対応するお助けマンの一人です。パソコンに興味を持ったのは、学生の時の先生の影響だとか。笑顔を絶やさずひたすらパソコンと向き合う田島さんをよろしくお願ひします。

共に頑張ります！

平成21年度 第92期

入 所 式



第92期の研究員に、研究に対する思いを、一言ずつ述べてもらいました。（写真右より）

長嶺奈々子教諭（松川小学校・国語）

楽しい授業がしたい、分かる授業がしたいと思いつつも、不完全燃焼の日々でした。授業の質を高めるチャンスだと信じて頑張ります。

比嘉正人教諭（真和志小学校・算数）

様々な研修会に参加する中で、算数指導の奥深さやおもしろさ、自分の勉強不足を感じました。研究員同士、共に成長していきたいと思ひます。

西原 卓教諭（首里中学校・社会）

ここ数年思うことは、「教師はやはり授業である」ということです。生徒自身が既存の知識や資料を活用し、考えを深め、それを表現できるような授業づくりを研究していきたいと思ひます。